

改正後	改正前
カード規定	カード規定
<p><u>1</u> カードの利用</p>	<p><u>1.</u> (カードの利用)</p>
<p>普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、営農貯金（当組合取引に限ります。）、貯蓄貯金について発行したJAキャッシュカードおよびJAカードローンについて発行したJAローンカード（キャッシュカード）（以下、これらを「カード」といいます。）は、当組合に開設された貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。</p> <p>ただし、カードローンの貸越、返済についての利用は、当組合とカードローン取引約定のある場合に限ります。</p>	<p>普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、営農貯金（当組合取引に限ります。）、貯蓄貯金について発行したJAキャッシュカードおよびJAカードローンについて発行したJAローンカード（キャッシュカード）（以下、これらを「カード」といいます。）は、それぞれ当該貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。</p> <p>ただし、カードローンの貸越、返済についての利用は、当組合とカードローン取引約定のある場合に限ります。</p>
<p>① 当組合、当組合が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）もしくは当組合がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して、または当組合もしくは提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を使用して、カードローンの貸越の返済、普通貯金、営農貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）</p>	<p>① 当組合、当組合が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）および当組合がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して(追加)カードローンの貸越の返済、普通貯金、営農貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）</p>
<p>② 当組合もしくは当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「出金提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以</p>	<p>② 当組合および当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「出金提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以</p>

改正後	改正前
<p>下、「支払機」といいます。)を使用して、<u>または当組合もしくは提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を使用して、</u>カードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合(以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。)</p>	<p>下、「支払機」といいます。)を使用して <u>(追加)</u> カードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合(以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。)</p>
<p>③ <u>当組合、提携組合および当組合が振込業務について提携した金融機関等の自動振込機(振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「振込機」といいます。)</u>を使用してカードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合</p>	<p>③ 当組合、提携組合および当組合が振込業務について提携した金融機関等の自動振込機(振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「振込機」といいます。)を使用してカードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合</p>
<p>④ <u>当組合と所定の契約を締結し、かつ日本マルチペイメントネットワーク運営機構</u>所定の収納機関規約を承認のうえ、運営機構に収納機関として登録された法人等(以下「マルチペイメント収納機関」といいます。)に対して、当組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、税金・各種料金の払込サービス(以下「Pay-easy(ペイジー)」)と利用する場合。また、当組合と同一都道府県内にある提携組合が所定の契約を締結したマルチペイメント収納機関に対して、当該提携組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、Pay-easy(ペイジー)を利用する場合</p>	<p>④ 当組合と所定の契約を締結し、かつ日本マルチペイメントネットワーク運営機構所定の収納機関規約を承認のうえ、運営機構に収納機関として登録された法人等(以下「マルチペイメント収納機関」といいます。)に対して、当組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、税金・各種料金の払込サービス(以下「Pay-easy(ペイジー)」)と利用する場合。また、当組合と同一都道府県内にある提携組合が所定の契約を締結したマルチペイメント収納機関に対して、当該提携組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、Pay-easy(ペイジー)を利用する場合</p>
<p><u>⑤ 当組合または提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を使用して、振込の依頼、届出事項の変更、口座振替の依頼等を行う場合</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p><u>⑥ 当組合もしくは提携組合の貯金機、支払機もしくは振込機を使用して、または当組合もしくは提携組合の店舗において、当組合または提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を用いて貯金の残高や届出情報を表示する場合</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>

改正後	改正前
⑦ その他当組合所定の取引をする場合	⑤ その他当組合所定の取引をする場合
2 入金	2. (貯金機による入金)
(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に <u>したが</u> って、貯金機にカード、または通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。	(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って、貯金機にカード、または通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。
(2) 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および入金提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、 <u>1</u> 回あたりの入金は、当組合および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。	(2) 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および入金提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、 <u>1</u> 回あたりの入金は、当組合および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。
(3) <u>当組合または提携組合の店舗においてタブレット等を用いて入金をする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u>	<u>(追加)</u>
3 払戻し	3. (支払機による払戻し)
(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に <u>したが</u> って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。	(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または出金提携先所定の金額単 <u>位</u> とし、 <u>1</u> 回あたりの払戻しは、当組合または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、 <u>1</u> 日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範囲内とします。	(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または出金提携先所定の金額単位とし、 <u>1</u> 回あたりの払戻しは、当組合または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、 <u>1</u> 日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範囲内とします。
(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。	(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する <u>自動機</u> 利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。

改正後	改正前
(4) <u>当組合または提携組合の店舗においてタブレット等を用いて払戻しをする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u>	<u>(追加)</u>
<u>4</u> 振込機による振込	<u>4. (振込機による振込)</u>
振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に <u>したが</u> って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。	振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
<u>5</u> 自動機利用手数料等	<u>5. (自動機利用手数料等)</u>
<u>6</u> 代理人による預入れ・払戻しおよび振込	<u>6. (代理人による預入れ・払戻しおよび振込)</u>
<u>7</u> 貯金機・支払機・振込機故障時等の取 <u>り</u> 扱い	<u>7. (貯金機・支払機・振込機故障時等の取扱い)</u>
<u>8</u> カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入	<u>8. (カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入)</u>
<u>9 本人確認</u>	<u>9. (カード・暗証の管理等)</u>
(1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当組合が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ貯金の払戻しを行います。	(1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当組合が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ貯金の払戻しを行います。
(2) <u>カードを、タブレット等を通して本人確認手段として利用する場合は、当組合または提携組合所定の操作手順にしたがって、当組合または提携組合の所定の端末にカードを挿入し、届出の暗証を正確に入力してください。</u>	<u>(追加)</u>
(3) <u>当組合または提携組合は、前記によりタブレット等に入力された暗証と、届出の暗証との一致を確認することにより本人確認を行うものとします。</u>	<u>(追加)</u>

改正後	改正前
(4) <u>当組合または提携組合所定の場合には、前二項に加え、本人確認書類の提示等当組合所定の手続を行うことがあります。</u>	<u>(追加)</u>
<u>10 カード・暗証の管理等</u>	<u>(追加)</u>
(1) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合、または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。	<u>(2)</u> カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合、または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。
(2) <u>当組合または提携組合が、前記 9の本人確認手続を行ったうえで、払戻し、払戻請求書、諸届その他の書類を取り扱った場合（当組合が貯金の払戻しに応じたことを含みます。）は、カードまたは暗証につき事故があっても、そのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。ただし、後記 11および12に定める場合にはこの限りではありません。</u>	<u>(追加)</u>
(3) カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出してください。	(3) カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出してください。
<u>11 偽造カード等による払戻し等</u>	<u>10. (偽造カード等による払戻し等)</u>
<u>12 盗難カードによる払戻し等</u>	<u>11. (盗難カードによる払戻し等)</u>
(1) 本人が個人の場合であって、カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当組合に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。	(1) 本人が個人の場合であって、カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当組合に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。
① <u>カードの盗難に気づいてからすみやかに、当組合への通知が行われてい</u>	① カードの盗難に気づいてからすみやかに、当組合への通知が行われて

改正後	改正前
ること	いること
②_当組合の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること	② 当組合の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること
③_当組合に対し、警察署に被害届を提出していること、その他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること	③ 当組合に対し、警察署に被害届を提出していること、その他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること
<p>(2) 前項の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当組合は、当組合へ通知が行われた日の30日（ただし、当組合に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下、「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。</p> <p>ただし、当該払い戻しが行われたことについて、当組合が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当組合が証明した場合には、当組合は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。</p>	<p>(2) 前項の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当組合は、当組合へ通知が行われた日の30日（ただし、当組合に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下、「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。</p> <p>ただし、当該払戻しが行われたことについて、当組合が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当組合が証明した場合には、当組合は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。</p>
<p>(3) 前2項の規定は、第1項にかかる当組合への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な貯金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日以後に行われた場合には、適用されないものとします。</p>	<p>(3) 前2項の規定は、第1項にかかる当組合への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な貯金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日以後に行われた場合には、適用されないものとします。</p>
<p>(4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当組合が証明した場合には、当組合は補てん責任を負いません。</p>	<p>(4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当組合が証明した場合には、当組合は補てん責任を負いません。</p>
13_カードの紛失、届出事項の変更等	12_(カードの紛失、届出事項の変更等)
<p>(1) カードを紛失した場合、または氏名、代理人、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当組合所定の方法により当組合に届出てください。この届出前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。</p>	<p>(1) カードを紛失した場合、または氏名、代理人、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当組合所定の方法により当組合に届出てください。この届出前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。</p>

改正後	改正前
<p>(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）およびタブレット等により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機およびタブレット等の画面表示等の操作手順にしたがって貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。</p>	<p>(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機の画面表示等の操作手順に従って貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。</p>
<p>(3) 代理人カードの暗証については、本人のほか、本人があらかじめ届出た代理人が変更することができます。ただし、代理人が代理人カードの暗証を変更する場合には、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）を使用するものとします。</p>	<p>(3) 代理人カードの暗証については、本人のほか、本人があらかじめ届出た代理人が変更することができます。ただし、代理人が代理人カードの暗証を変更する場合には、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）を使用するものとします。</p>
<p>14_カードの再発行等</p>	<p>13. (カードの再発行等)</p>
<p>15_貯金機、支払機、振込機への誤入力等</p>	<p>14. (貯金機、支払機、振込機への誤入力等)</p>
<p>16_解約、カードの利用停止等</p>	<p>15 (解約、カードの利用停止等)</p>
<p>(1) 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合、カードローン取引が終了した場合（ただし、JAローンカード（キャッシュカード）に限る。）、または当組合普通貯金規定（普通貯金無利息型(決済用)規定を含みます。以下、同じです。）、総合口座取引規定（総合口座（普通貯金無利息型）取引規定を含みます。以下、同じです。）、営農貯金または貯蓄貯金規定により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返却いただくか、本カードの磁気ストライプ部分を切断のうえ破棄してください。</p>	<p>(1) 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合、カードローン取引が終了した場合（ただし、JAローンカード（キャッシュカード）に限る。）、または当組合普通貯金規定（普通貯金無利息型(決済用)規定を含みます。以下、同じです。）、総合口座取引規定（総合口座（普通貯金無利息型）取引規定を含みます。以下、同じです。）、営農貯金または貯蓄貯金規定により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返却いただくか、本カードの磁気ストライプ部分を切断のうえ破棄してください。</p>
<p>(2) カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不相当と認めた場合、および暗証相違回数オーバーの場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当</p>	<p>(2) カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不相当と認めた場合、および暗証相違回数オーバーの場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。</p>

改正後	改正前
店に返却してください。	
(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合 <u> </u> の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。	(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。
① <u>第17</u> 条に定める規定に違反した場合	① <u>第16</u> 条に定める規定に違反した場合
② <u>普通貯金規定</u> 、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定により貯金口座の貯金取引が停止された場合	② <u>普通貯金規定</u> 、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定により貯金口座の貯金取引が停止された場合
③ <u>貯金口座</u> に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合	③ <u>貯金口座</u> に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合
④ <u>カード</u> が偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合	④ <u>カード</u> が偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合
<u>17</u> <u>譲渡、質入れ等の禁止</u>	<u>16</u> . <u>(譲渡、質入れ等の禁止)</u>
<u>18</u> <u>規定の適用</u>	<u>17</u> . <u>(規定の適用)</u>
(1) この規定に定めのない事項については、当組合普通貯金規定、総合口座取引規定、営 <u> </u> 農貯金規定または貯蓄貯金規定、ならびに <u>JA</u> カードローン取引約定書、（ただし、当組合と <u>JA</u> カードローン取引約定のある場合に限る。）および振込規定により取 <u>り</u> 扱います。	(1) この規定に定めのない事項については、当組合普通貯金規定、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定、ならびに <u>JA</u> カードローン取引約定書、（ただし、当組合と <u>JA</u> カードローン取引約定のある場合に限る。）および振込規定により取扱います。
(2) この規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するものとします。	(2) この規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するものとします。

改正後	改正前
(3) 前項によるこの規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。	(3) 前項によるこの規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。
以 <u>上</u>	以 <u>上</u>
(2025年6月1日現在)	(2020年4月1日現在)

改正後	改正前
ICカード規定	ICカード規定
1 カードの利用	1. (カードの利用)
<p>(1) 普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、営農貯金（当組合取引に限ります。）、貯蓄貯金およびJAカードローン（キャッシュカード）について発行したICチップを搭載したICキャッシュカード（以下、これらを「カード」といいます。）は、当組合に開設された貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。</p>	<p>(1) 普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、営農貯金（当組合取引に限ります。）、貯蓄貯金およびJAカードローン（キャッシュカード）について発行したICチップを搭載したICキャッシュカード（以下、これらを「カード」といいます。）は、それぞれ当該貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。</p>
<p>ただし、カードローンの貸越、返済についての利用は、当組合とカードローン取引約定のある場合に限ります。</p>	<p>ただし、カードローンの貸越、返済についての利用は、当組合とカードローン取引約定のある場合に限ります。</p>
<p>① 当組合、当組合が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）もしくは当組合がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して、または当組合もしくは提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を使用して、カードローンの貸越の返済、普通貯金、営農貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）</p>	<p>① 当組合、当組合が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）および当組合がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して、(追加)カードローンの貸越の返済、普通貯金、営農貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）</p>
<p>② 当組合もしくは当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合を含めて「出</p>	<p>② 当組合および当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合を含めて「出金提携先</p>

改正後	改正前
<p>金提携先」といいます。)の現金自動支払機(現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。)を使用して、<u>または当組合もしくは提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を使用して、</u>カードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合(以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。)</p>	<p>といいます。)の現金自動支払機(現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。)を使用して、<u>(追加)</u>カードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合(以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。)</p>
<p>③ <u>当組合、提携組合および当組合が振込業務について提携した金融機関等の自動振込機</u>(振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「振込機」といいます。)を使用してカードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合</p>	<p><u>③</u> <u>当組合、提携組合および当組合が振込業務について提携した金融機関等の自動振込機</u>(振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「振込機」といいます。)を使用してカードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合</p>
<p>④ <u>当組合と所定の契約を締結し、かつ日本マルチペイメントネットワーク運営機構</u><u>所定の収納機関規約を承認のうえ、運営機構に収納機関として登録された法人等</u>(以下「マルチペイメント収納機関」といいます。)に対して、当組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、税金・各種料金の払込サービス(以下「Pay-easy(ペイジー)」といいます。)を利用する場合。また、当組合と同一都道府県内にある提携組合が所定の契約を締結したマルチペイメント収納機関に対して、当該提携組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、Pay-easy(ペイジー)を利用する場合</p>	<p><u>④</u> <u>当組合と所定の契約を締結し、かつ日本マルチペイメントネットワーク運営機構所定の収納機関規約を承認のうえ、運営機構に収納機関として登録された法人等</u>(以下「マルチペイメント収納機関」といいます。)に対して、当組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、税金・各種料金の払込サービス(以下「Pay-easy(ペイジー)」といいます。)を利用する場合。また、当組合と同一都道府県内にある提携組合が所定の契約を締結したマルチペイメント収納機関に対して、当該提携組合の振込機を使用して、カードローンの貸越を受け、または振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、Pay-easy(ペイジー)を利用する場合</p>
<p><u>⑤ 当組合または提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を使用して、振込の依頼、届出事項の変更、口座振替の依頼等を行う場合</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p><u>⑥ 当組合もしくは提携組合の貯金機、支払機もしくは振込機を使用して、</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>

改正後	改正前
<p><u>または当組合もしくは提携組合の店舗において、当組合または提携組合の店舗に設置しているタブレット等の機器を用いて貯金の残高や届出情報を表示する場合</u></p>	
<p><u>⑦</u> その他当組合所定の取引をする場合</p>	<p><u>⑤</u> その他当組合所定の取引をする場合</p>
<p><u>2 入金</u></p>	<p><u>2. (貯金機による入金)</u></p>
<p>(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に<u>したが</u>って、貯金機にカードまたは通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。</p>	<p><u>(1)</u> 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に<u>従</u>って、貯金機にカードまたは通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。</p>
<p>(2) 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および入金提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、<u>1</u>回あたりの入金は、当組合および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。</p>	<p><u>(2)</u> 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および入金提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、<u>1</u>回あたりの入金は、当組合および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。</p>
<p>(3) <u>当組合または提携組合の店舗においてタブレット等を用いて入金をする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p><u>3 払戻し</u></p>	<p><u>3. (支払機による払戻し)</u></p>
<p>(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に<u>したが</u>って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>	<p><u>(1)</u> 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に<u>従</u>って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>
<p>(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または出金提携先所定の金額単位とし、<u>1</u>回あたりの払戻しは、当組合または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、<u>1</u>日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範</p>	<p><u>(2)</u> 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または出金提携先所定の金額単位とし、<u>1</u>回あたりの払戻しは、当組合または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、<u>1</u>日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範囲内とします。</p>

改正後	改正前
<p>囲内とします。</p>	
<p>(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。</p>	<p><u>(3)</u> 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。</p>
<p>(4) <u>当組合または提携組合の店舗においてタブレット等を用いて払戻しをする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p><u>4</u> 振込機による振込</p>	<p><u>4.</u> <u>(振込機による振込)</u></p>
<p>振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に<u>したが</u>って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>	<p>振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に<u>従</u>って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>
<p><u>5</u> 自動機利用手数料等</p>	<p><u>5.</u> <u>(自動機利用手数料等)</u></p>
<p><u>6</u> 代理人による預入れ・払戻しおよび振込</p>	<p><u>6.</u> <u>(代理人による預入れ・払戻しおよび振込)</u></p>
<p><u>(1)</u> 代理人（本人と生計をともにする親族、法定代理人のどちらか<u>1</u>名に限ります。）による貯金の預入れ・払戻しおよび振込の依頼をする場合には、本人から代理人の氏名、暗証を届出てください。この場合、当組合は代理人のためのカード（以下、「代理人カード」といいます。）を発行します。</p>	<p><u>(1)</u> 代理人（本人と生計をともにする親族、法定代理人のどちらか<u>1</u>名に限ります。）による貯金の預入れ・払戻しおよび振込の依頼をする場合には、本人から代理人の氏名、暗証を届出てください。この場合、当組合は代理人のためのカード（以下、「代理人カード」といいます。）を発行します。</p>
<p><u>(2)</u> 代理人カードにより振込の依頼をする場合には、振込依頼人名は本人名義となります。</p>	<p><u>(2)</u> 代理人カードにより振込の依頼をする場合には、振込依頼人名は本人名義となります。</p>
<p><u>(3)</u> 代理人のカードの利用についても、この規定を適用します。ただし、代理人カードでカードローンの貸越を行うことはできません。</p>	<p><u>(3)</u> 代理人のカードの利用についても、この規定を適用します。ただし、代理人カードでカードローンの貸越を行うことはできません。</p>
<p><u>7</u> 貯金機・支払機・振込機故障時等の取<u>り</u>扱い</p>	<p><u>7.</u> <u>(貯金機・支払機・振込機故障時等の取扱い)</u></p>

改正後	改正前
<p><u>8</u> カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入</p>	<p><u>8. (カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入)</u></p>
<p>カードにより入金した金額、払戻した金額、自動機利用手数料金額<u>および</u>振込手数料金額の通帳記入は、通帳が当組合および全国の提携組合の貯金機、振込機、支払機もしくは通帳記帳機で使用された場合または当組合本支店（所）および全国の提携組合の窓口に提出された場合に行います。</p>	<p>カードにより入金した金額、払戻した金額、自動機利用手数料金額、<u>振込</u>手数料金額の通帳記入は、通帳が当組合および全国の提携組合の貯金機、振込機、支払機もしくは通帳記帳機で使用された場合または当組合本支店（所）および全国の提携組合の窓口に提出された場合に行います。</p>
<p><u>9 本人確認</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p>(1) <u>当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当組合が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ貯金の払戻しを行います。</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p>(2) <u>カードを、タブレット等を通して本人確認手段として利用する場合は、当組合または提携組合所定の操作手順にしたがって、当組合または提携組合の所定の端末にカードを挿入し、届出の暗証を正確に入力してください。</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p>(3) <u>当組合または提携組合は、前記によりタブレット等に入力された暗証と、届出の暗証との一致を確認することにより本人確認を行うものとします。</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p>(4) <u>当組合または提携組合所定の場合には、前二項に加え、本人確認書類の提示等当組合所定の手続を行うことがあります。</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p><u>10</u> カード・暗証の管理等</p>	<p><u>9. (カード・暗証の管理等)</u></p>
<p><u>(削除)</u></p>	<p>(1) <u>当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードの電磁的または電子的情報が、当組合が本人に交付したカードに関して登録されている電磁的または電子的情報と一致すること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ払戻しを行います。</u></p>

改正後	改正前
<p>(1) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。</p>	<p><u>(2)</u> カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。</p>
<p>(2) <u>当組合または提携組合が、前記 9の本人確認手続を行ったうえで、払戻し、払戻請求書、諸届その他の書類を取り扱った場合（当組合が預金の払戻しに応じたことを含みます。）は、カードまたは暗証につき事故があっても、そのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。ただし、後記 11および12 に定める場合にはこの限りではありません。</u></p>	<p><u>(追加)</u></p>
<p>(3) カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出してください。</p>	<p><u>(3)</u> カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出してください。</p>
<p><u>11</u> 偽造カード等による払戻し等</p>	<p><u>10.</u> <u>(偽造カード等による払戻し等)</u></p>
<p><u>12</u> 盗難カードによる払戻し等</p>	<p><u>11.</u> <u>(盗難カードによる払戻し等)</u></p>
<p>(1) 本人が個人の場合であって、カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当組合に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。</p>	<p>(1) 本人が個人の場合であって、カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当組合に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。</p>
<p>① <u>カードの盗難に気づいてからすみやかに、当組合への通知が行われていること</u></p>	<p>① <u>カードの盗難に気づいてからすみやかに、当組合への通知が行われていること</u></p>
<p>② <u>当組合の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること</u></p>	<p>② <u>当組合の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること</u></p>
<p>③ <u>当組合に対し、警察署に被害届を提出していること、その他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること</u></p>	<p>③ <u>当組合に対し、警察署に被害届を提出していること、その他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること</u></p>

改正後	改正前
<p>(2) 前項の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当組合は、当組合へ通知が行われた日の30日（ただし、当組合に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下、「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。</p>	<p>(2) 前項の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当組合は、当組合へ通知が行われた日の30日（ただし、当組合に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下、「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。</p>
<p>ただし、当該払い戻しが行われたことについて、当組合が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当組合が証明した場合には、当組合は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。</p>	<p>ただし、当該払戻しが行われたことについて、当組合が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当組合が証明した場合には、当組合は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。</p>
<p>(3) 前2項の規定は、第1項にかかる当組合への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な貯金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。</p>	<p>(3) 前 2項の規定は、第1項にかかる当組合への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な貯金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。</p>
<p>(4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当組合が証明した場合には、当組合は補てん責任を負いません。</p>	<p>(4) 第 2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当組合が証明した場合には、当組合は補てん責任を負いません。</p>
<p>13 カードの紛失、届出事項の変更等</p>	<p>12. (カードの紛失、届出事項の変更等)</p>
<p>(1) カードを紛失した場合または氏名、代理人、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当組合所定の方法により当組合に届出てください。この届出前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。</p>	<p>(1) カードを紛失した場合または氏名、代理人、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当組合所定の方法により当組合に届出てください。この届出前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。</p>
<p>(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）およびタブレット等により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機およびタブレット等の画面表示等の操作手順にしたがって貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。</p>	<p>(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機の画面表示等の操作手順に従って貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。</p>
<p>(3) 代理人カードの暗証については、本人のほか、本人があらかじめ届け出</p>	<p>(3) 代理人カードの暗証については、本人のほか、本人があらかじめ届け出た代理人が変更することができます。ただし、代理人が代理人カードの暗証を</p>

改正後	改正前
<p>た代理人が変更することができます。ただし、代理人が代理人カードの暗証を変更する場合には、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）を使用するものとします。</p>	<p>変更する場合には、貯金機、支払機、振込機（当組合および県内の提携組合に限ります。）を使用するものとします。</p>
<p><u>14</u> カードの再発行等</p>	<p><u>13.</u> <u>(カードの再発行等)</u></p>
<p><u>(1)</u> カードの盗難、紛失等の場合およびカード利用中においてカードIC損傷、カード変形、暗証相違回数オーバーによりカード利用不能となった場合のカードの再発行は、当組合所定の手続をした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。</p>	<p><u>(1)</u> カードの盗難、紛失等の場合およびカード利用中においてカードIC損傷、カード変形、暗証相違回数オーバーによりカード利用不能となった場合のカードの再発行は、当組合所定の手続をした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。</p>
<p><u>(2)</u> カードを再発行する場合には、当組合所定の再発行手数料をいただきます。</p>	<p><u>(2)</u> カードを再発行する場合には、当組合所定の再発行手数料をいただきます。</p>
<p><u>15</u> 貯金機、支払機、振込機への誤入力等</p>	<p><u>14.</u> <u>(貯金機、支払機、振込機への誤入力等)</u></p>
<p><u>16</u> 解約、カードの利用停止等</p>	<p><u>15.</u> <u>(解約、カードの利用停止等)</u></p>
<p>(1) 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合またはカードローン取引が終了した場合（ただし、JAローンカード（キャッシュカード）に限る。）、または当組合普通貯金規定（普通貯金無利息型（決済用）規定を含みます。以下、同じです。）、総合口座取引規定（総合口座（普通貯金無利息型）取引規定を含みます。以下、同じです。）、営農貯金または貯蓄貯金規定により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返却いただくか、カードのIC部分を切断のうえ破棄してください。</p>	<p><u>(1)</u> 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合またはカードローン取引が終了した場合（ただし、JAローンカード（キャッシュカード）に限る。）、または当組合普通貯金規定（普通貯金無利息型（決済用）規定を含みます。以下、同じです。）、総合口座取引規定（総合口座（普通貯金無利息型）取引規定を含みます。以下、同じです。）、営農貯金または貯蓄貯金規定により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返却いただくか、カードのIC部分を切断のうえ破棄してください。</p>
<p>(2) カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不相当と認めた場合、および暗証相違回数オーバーの場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当</p>	<p><u>(2)</u> カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不相当と認めた場合、および暗証相違回数オーバーの場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。</p>

改正後	改正前
店に返却してください。	
(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合__の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。	<u>(3)</u> 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。
① <u>第17条</u> に定める規定に違反した場合	① <u>第16条</u> に定める規定に違反した場合
② <u>普通貯金規定、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定</u> により貯金口座の貯金取引が停止された場合	② <u>普通貯金規定、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定</u> により貯金口座の貯金取引が停止された場合
③ <u>貯金口座</u> に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合	③ <u>貯金口座</u> に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合
④ <u>カード</u> が偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合	④ <u>カード</u> が偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合
<u>17</u> 譲渡、質入れ等の禁止	<u>16.</u> (譲渡、質入れ等の禁止)
<u>18</u> 規定の適用	<u>17.</u> (規定の適用)
(1) この規定に定めのない事項については、当組合普通貯金規定、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定、ならびに <u>JA</u> カードローン取引約定書、 <u>JA</u> カードローン利用規定（ただし、当組合と <u>JA</u> カードローン取引約定のある場合に限る。）および振込規定により取 <u>り</u> 扱います。	<u>(1)</u> この規定に定めのない事項については、当組合普通貯金規定、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定、ならびに <u>JA</u> カードローン取引約定書、 <u>JA</u> カードローン利用規定（ただし、当組合と <u>JA</u> カードローン取引約定のある場合に限る。）および振込規定により取扱います。
(2) この規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するも	<u>(2)</u> この規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するものとします。

改正後	改正前
のとします。	
(3) 前項によるこの規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。	(3) 前項によるこの規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。
以 <u>上</u>	以 <u>上</u>
(2025年6月1日現在)	(令和2年4月1日現在)

改正後	改正前
法人用 IC カード規定	法人用 IC カード規定
1 <u>カードの利用</u>	1. <u>(カードの利用)</u>
<p>普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）を含みます。以下、同じです。）について発行したICチップを搭載したICキャッシュカード（以下、「カード」といいます。）は、当該貯金口座について、次の場合に利用することができます。</p>	<p>普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）を含みます。以下、同じです。）について発行したICチップを搭載したICキャッシュカード（以下、「カード」といいます。）は、当該貯金口座について、次の場合に利用することができます。</p>
<p>① 当組合および当組合が提携した県内の他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して普通貯金に預入れをする場合（以下、この取引を単に「入金」といいます。）</p>	<p>① 当組合および当組合が提携した県内の他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して普通貯金に預入れをする場合（以下、この取引を単に「入金」といいます。）</p>
<p>② 当組合および提携組合の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。）を使用して普通貯金の払戻しをする場合（以下、この取引を単に「払戻し」といいます。）</p>	<p>② 当組合および提携組合の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。）を使用して普通貯金の払戻しをする場合（以下、この取引を単に「払戻し」といいます。）</p>
<p>③ 当組合および提携組合の自動振込機（振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「振込機」といいます。）を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合</p>	<p>③ 当組合および提携組合の自動振込機（振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「振込機」といいます。）を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合</p>
<p>④ 当組合と所定の契約を締結し、かつ日本マルチペイメントネットワーク運営機構所定の収納機関規約を承認のうえ、運営機構に収納機関として登録された法人等（以下「マルチペイメント収納機関」といいます。）に対して、当組合の振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、税金・各種料金の払込サービス（以下「Pay-easy（ペイジー）」といいます。）を利用する場合。また、当組合と同一都道府県内にある提携組合が所定の契約を締結したマルチペイメント収納機関に対して、当該提携組合の振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、Pay-easy（ペイジー）を利用する場合</p>	<p>④ 当組合と所定の契約を締結し、かつ日本マルチペイメントネットワーク運営機構所定の収納機関規約を承認のうえ、運営機構に収納機関として登録された法人等（以下「マルチペイメント収納機関」といいます。）に対して、当組合の振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、税金・各種料金の払込サービス（以下「Pay-easy（ペイジー）」といいます。）を利用する場合。また、当組合と同一都道府県内にある提携組合が所定の契約を締結したマルチペイメント収納機関に対して、当該提携組合の振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、Pay-easy（ペイジー）を利用する場合</p>
<p>⑤ その他当組合所定の取引をする場合</p>	<p>⑤ その他当組合所定の取引をする場合</p>

改正後	改正前
<p><u>2</u> 貯金機による入金</p>	<p><u>2.</u> (貯金機による入金)</p>
<p>(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に<u>したが</u>って、貯金機にカードまたは通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。</p>	<p>(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に<u>従</u>って、貯金機にカードまたは通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。</p>
<p>(2) 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および提携組合所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、<u>1</u>回あたりの入金は、当組合および提携組合所定の枚数による金額の範囲内とします。</p>	<p>(2) 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および提携組合所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、<u>1</u>回あたりの入金は、当組合および提携組合所定の枚数による金額の範囲内とします。</p>
<p><u>3</u> 支払機による払戻し</p>	<p><u>3.</u> (支払機による払戻し)</p>
<p>(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に<u>したが</u>って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>	<p>(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に<u>従</u>って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>
<p>(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または提携組合所定の金額単位とし、<u>1</u>回あたりの払戻しは、当組合または提携組合の所定の金額の範囲内とします。なお、<u>1</u>日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範囲内とします。</p>	<p>(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または提携組合所定の金額単位とし、<u>1</u>回あたりの払戻しは、当組合または提携組合の所定の金額の範囲内とします。なお、<u>1</u>日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範囲内とします。</p>
<p>(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第<u>5</u>条第<u>1</u>項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。</p>	<p>(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第<u>5</u>条第<u>1</u>項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。</p>
<p><u>4</u> 振込機による振込</p>	<p><u>4.</u> (振込機による振込)</p>
<p>振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に<u>したが</u>って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における普通貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>	<p>振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に<u>従</u>って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における普通貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p>
<p><u>5</u> 自動機利用手数料等</p>	<p><u>5.</u> (自動機利用手数料等)</p>
<p>(1) 貯金機を使用して入金する場合、貯金機、支払機または振込機を使用して払戻しをする場合には、当組合および提携組合所定の貯金機、支払機および振込機の利用に関する手数料（以下、「自動機利用手数料」といいます。</p>	<p>(1) 貯金機を使用して入金する場合、貯金機、支払機または振込機を使用して払戻しをする場合には、当組合および提携組合所定の貯金機、支払機および振込機の利用に関する手数料（以下、「自動機利用手数料」といいます。）を</p>

改正後	改正前
す。)をいただきます。	いただきます。
(2) 自動機利用手数料は、入金および払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その入金および払戻しをした貯金口座から自動的に引落します。	(2) 自動機利用手数料は、入金および払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その入金および払戻しをした貯金口座から自動的に引落します。
(3) 振込手数料は、振込資金の貯金口座からの払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした貯金口座から自動的に引落します。	(3) 振込手数料は、振込資金の貯金口座からの払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした貯金口座から自動的に引落します。
<u>6</u> 代理人による入金・払戻しおよび振込	<u>6.</u> (代理人による入金・払戻しおよび振込)
(1) 代理人 (<u>1</u> 名に限ります。) による貯金の入金・払戻しおよび振込の依頼をする場合には、届出の法人から代理人の氏名、暗証を届出てください。この場合、当組合は代理人のためのカード (以下、「代理人カード」といいます。) を発行します。	(1) 代理人 (<u>1</u> 名に限ります。) による貯金の入金・払戻しおよび振込の依頼をする場合には、届出の法人から代理人の氏名、暗証を届出てください。この場合、当組合は代理人のためのカード (以下、「代理人カード」といいます。) を発行します。
(2) 代理人カードにより振込の依頼をする場合には、振込依頼人名は届出の法人名義となります。	(2) 代理人カードにより振込の依頼をする場合には、振込依頼人名は届出の法人名義となります。
(3) 代理人のカードの利用についても、この規定を適用します。	(3) 代理人のカードの利用についても、この規定を適用します。
<u>7</u> 貯金機・支払機・振込機故障時等の取 <u>り</u> 扱い	<u>7.</u> (貯金機・支払機・振込機故障時等の取扱い)
<u>8</u> カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入	<u>8.</u> (カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入)
<u>9</u> カード・暗証の管理等	<u>9.</u> (カード・暗証の管理等)
(1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードの電磁的または電子的情報が、当組合が交付したカードに関して登録されている電磁的または電子的情報と一致すること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ払戻しを行います。	(1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードの電磁的または電子的情報が、当組合が交付したカードに関して登録されている電磁的または電子的情報と一致すること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ払戻しを行います。
(2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに届出の法人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。	(2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに届出の法人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。
(3) カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出し	(3) カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出して

改正後	改正前
てください。	ください。
10_ 偽造カード等による払戻し	10. <u>(偽造カード等による払戻し)</u>
11_ 盗難カードによる払戻し	11. <u>(盗難カードによる払戻し)</u>
12_ カードの紛失、届出事項の変更等	12. <u>(カードの紛失、届出事項の変更等)</u>
(1) カードを紛失した場合または法人名、代表者名、代理人、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに当組合所定の方法により当組合に届出てください。	(1) カードを紛失した場合または法人名、代表者名、代理人、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに当組合所定の方法により当組合に届出てください。
(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機の画面表示等の操作手順に <u>したが</u> って貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。	(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。
(3) 代理人カードの暗証については、届出の法人のほか、届出の法人があらかじめ届け出た代理人を変更することができます。ただし、代理人が代理人カードの暗証を変更する場合には、貯金機、支払機、振込機を使用するものとします。	(3) 代理人カードの暗証については、届出の法人のほか、届出の法人があらかじめ届け出た代理人を変更することができます。ただし、代理人が代理人カードの暗証を変更する場合には、貯金機、支払機、振込機を使用するものとします。
13_ カードの再発行等	13. <u>(カードの再発行等)</u>
(1) カードの盗難、紛失等の場合およびカード利用中においてカード <u>IC</u> 損傷、カード変形、暗証相違回数オーバーによりカード利用不能となった場合のカードの再発行は、当組合所定の手続をした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。	(1) カードの盗難、紛失等の場合およびカード利用中においてカード <u>IC</u> 損傷、カード変形、暗証相違回数オーバーによりカード利用不能となった場合のカードの再発行は、当組合所定の手続をした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。
(2) カードを再発行する場合には、当組合所定の再発行手数料をいただきます。	(2) カードを再発行する場合には、当組合所定の再発行手数料をいただきます。
14_ 貯金機、支払機、振込機への誤入力等	14. <u>(貯金機、支払機、振込機への誤入力等)</u>
15_ 解約、カードの利用停止等	15. <u>(解約、カードの利用停止等)</u>
(1) 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合、または当組合普通貯金規定（普通貯金無利息型(決済用)規定を含みます。以下、同じです。）により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返	(1) 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合、または当組合普通貯金規定（普通貯金無利息型(決済用)規定を含みます。以下、同じです。）により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返却いた

改正後	改正前
却いただくか、本カードの <u>IC</u> 部分を切断のうえ破棄してください。	だくか、本カードの <u>IC</u> 部分を切断のうえ破棄してください。
(2) カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不相当と認めた場合、および暗証相違回数オーバーの場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。	(2) カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不相当と認めた場合、および暗証相違回数オーバーの場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。
(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が届出の法人であることを確認できたときに停止を解除します。	(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が届出の法人であることを確認できたときに停止を解除します。
① 第16条に定める規定に違反した場合	① 第16条に定める規定に違反した場合
② 普通貯金規定により貯金口座の貯金取引が停止された場合	② 普通貯金規定により貯金口座の貯金取引が停止された場合
③ 貯金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合	③ 貯金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合
④ カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合	④ カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合
16 <u>譲渡、質入れ等の禁止</u>	16. <u>(譲渡、質入れ等の禁止)</u>
17 <u>規定の適用</u>	17. <u>(規定の適用)</u>
(1) この規定に定めのない事項については、当組合普通貯金規定および振込規定により取 <u>り</u> 扱います。	(1) この規定に定めのない事項については、当組合普通貯金規定および振込規定により取扱います。
(2) この規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するものとします。	(2) この規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するものとします。
(3) 前項によるこの規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。	(3) 前項によるこの規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

改正後	改正前
以 上	以 上
(2025年6月1日現在)	(令和2年4月1日現在)

改正後	改正前
JA カード（一体型）規定	JA カード（一体型）規定
1 <u>JA</u> カード（一体型）	1. <u>(JA</u> カード（一体型）
<p>(1) JAカード（一体型）とは、当組合のICキャッシュカード（ただし「ICカード規定」所定の代理人カードは除くものとしします。）としての機能をいい、以下、「ICキャッシュカード機能」といいます。）と、三菱UFJニコス株式会社（以下、「当社」といいます。）のクレジットカードとしての機能（「JAカード（一体型）会員規約」により定められた機能をいい、以下、「クレジットカード機能」といいます。）を一体化し、双方の機能を1枚で提供するカードのことをいうものとしします。なお、JAカード（一体型）のカード券面には「JA CARD」と表示する他、氏名（ローマ字表示）、クレジットカードの会員番号、有効期限およびICキャッシュカードの貯金口座番号等が表示されるものとしします。</p>	<p>(1) JAカード（一体型）とは、当組合のICキャッシュカード（ただし「ICカード規定」所定の代理人カードは除くものとしします。）としての機能をいい、以下、「ICキャッシュカード機能」といいます。）と、三菱UFJニコス株式会社（以下、「当社」といいます。）のクレジットカードとしての機能（「JAカード（一体型）会員規約」により定められた機能をいい、以下、「クレジットカード機能」といいます。）を一体化し、双方の機能を1枚で提供するカードのことをいうものとしします。なお、JAカード（一体型）のカード券面には「JA CARD」と表示する他、氏名（ローマ字表示）、クレジットカードの会員番号、有効期限およびICキャッシュカードの貯金口座番号等が表示されるものとしします。</p>
<p>(2) JAカード（一体型）は、「普通貯金規定」、「普通貯金無利息型（決済用）規定」、「総合口座取引規定」、「総合口座（普通貯金無利息型）取引規定」、「営農貯金規定」のうちJAカード（一体型）のクレジットカード機能の利用代金を決済する口座に関連する規定（以下、「関連規定」といいます。）、「ICカード規定」、「デビットカード取引規定」、「JAカード（一体型）会員規約」および「JAカード（一体型）規定」（以下、「本規定」といいます。）を承認のうえ、当組合および当社所定の方法にて入会を申し込み、当組合および当社が認めた者（以下、「利用者」といいます。）に対し、1枚のみ発行されるものとしします。</p>	<p>(2) JAカード（一体型）は、「普通貯金規定」、「普通貯金無利息型（決済用）規定」、「総合口座取引規定」、「総合口座（普通貯金無利息型）取引規定」、「営農貯金規定」のうちJAカード（一体型）のクレジットカード機能の利用代金を決済する口座に関連する規定（以下、「関連規定」といいます。）、「ICカード規定」、「デビットカード取引規定」、「JAカード（一体型）会員規約」および「JAカード（一体型）規定」（以下、「本規定」といいます。）を承認のうえ、当組合および当社所定の方法にて入会を申し込み、当組合および当社が認めた者（以下、「利用者」といいます。）に対し、1枚のみ発行されるものとしします。</p>
<p>(3) JAカード（一体型）のクレジットカード機能の利用代金を決済する口座は、当該JAカード（一体型）の貯金口座とするものとしします。</p>	<p>(3) JAカード（一体型）のクレジットカード機能の利用代金を決済する口座は、当該JAカード（一体型）の貯金口座とするものとしします。</p>
2 <u>JA</u> カード（一体型）の貸与および譲渡等の禁止	2. <u>(JA</u> カード（一体型）の貸与および譲渡等の禁止

改正後	改正前
<p>(2) 有効期限までにクレジットカード機能退会の申し出がない利用者で、かつ、当社が引き続き利用者として承認する場合、有効期限を更新した新たなJAカード（一体型）（以下、「新カード」といいます。）が発行・貸与されるものとします。</p>	<p>(2) 有効期限までにクレジットカード機能退会の申し出がない利用者で、かつ、当社が引き続き利用者として承認する場合、有効期限を更新した新たなJAカード（一体型）（以下、「新カード」といいます。）が発行・貸与されるものとします。</p>
<p>(3) 当社がクレジットカード機能の提供を承認しなかった場合には、当組合が「ICカード規定」および「デビットカード取引規定」により発行されるICキャッシュカード（以下、「ICキャッシュカード」といいます。）を発行し貸与するものとします。</p>	<p>(3) 当社がクレジットカード機能の提供を承認しなかった場合には、当組合が「ICカード規定」および「デビットカード取引規定」により発行されるICキャッシュカード（以下、「ICキャッシュカード」といいます。）を発行し貸与するものとします。</p>
<p>(4) 第2項で利用者が新カードの交付を受けた場合は、新カードを初めて自動機に挿入して貯金の預入れ・払戻し・振込・現金の借受または残高照会等を行った時点、あるいはデビットカードとしての機能を使用した時点で、それまでご利用中のJAカード（一体型）（以下、「旧カード」といいます。）の使用ができなくなります。また、新カードを使用しない場合でも、旧カードは当該カードに印字されている有効期限後に、当該カードの使用ができなくなります。</p>	<p>(4) 第2項で利用者が新カードの交付を受けた場合は、新カードを初めて自動機に挿入して貯金の預入れ・払戻し・振込・現金の借受または残高照会等を行った時点、あるいはデビットカードとしての機能を使用した時点で、それまでご利用中のJAカード（一体型）（以下、「旧カード」といいます。）の使用ができなくなります。また、新カードを使用しない場合でも、旧カードは当該カードに印字されている有効期限後に、当該カードの使用ができなくなります。</p>
<p>(5) 第4項により使用できなくなった旧カードは利用者が責任をもって破棄するものとします。なお、旧カードを破棄しなかったことにより生じた不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>	<p>(5) 第4項により使用できなくなった旧カードは利用者が責任をもって破棄するものとします。なお、旧カードを破棄しなかったことにより生じた不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>
<p><u>5 JAカード（一体型）の盗難・紛失の場合の責任と損害の負担</u></p>	<p><u>5. (JAカード（一体型）の盗難・紛失の場合の責任と損害の負担)</u></p>
<p>(1) 万一利用者が、JAカード（一体型）を盗難、詐取もしくは横領（以下、「盗難」といいます。）され、または紛失した場合は、速やかに当組合および当社それぞれに電話等により届出のうえ、最寄りの警察署へお届けいただくものとします。</p>	<p>(1) 万一利用者が、JAカード（一体型）を盗難、詐取もしくは横領（以下、「盗難」といいます。）され、または紛失した場合は、速やかに当組合および当社それぞれに電話等により届出のうえ、最寄りの警察署へお届けいただくものとします。</p>
<p>(2) 盗難・紛失の通知を当組合が受けた場合には、当組合がICキャッシュカード機能を停止するものとします。また、盗難・紛失の通知を当社が受けた場合には、当社がクレジットカード機能を停止するものとします。</p>	<p>(2) 盗難・紛失の通知を当組合が受けた場合には、当組合がICキャッシュカード機能を停止するものとします。また、盗難・紛失の通知を当社が受けた場合には、当社がクレジットカード機能を停止するものとします。</p>
<p>(3) 第2項にかかわらず、当組合および当社のいずれかに通知があった場合</p>	<p>(3) 第2項にかかわらず、当組合および当社のいずれかに通知があった場合</p>

改正後	改正前
<p>は、任意に当組合がICキャッシュカード機能を、当社がクレジットカード機能をそれぞれ停止することができます。これに伴う不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>	<p>は、任意に当組合がICキャッシュカード機能を、当社がクレジットカード機能をそれぞれ停止することができます。これに伴う不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>
<p>(4) 利用者は、JAカード（一体型）が盗難・紛失にあった場合には、第1項の通知の他、当組合に所定の書面により届出を行わなければなりません。</p>	<p>(4) 利用者は、JAカード（一体型）が盗難・紛失にあった場合には、第1項の通知の他、当組合に所定の書面により届出を行わなければなりません。</p>
<p>(5) 盗難・紛失により被る損害については、ICキャッシュカード機能に関する損害については「ICカード規定」が、クレジットカード機能に関する損害については「JAカード（一体型）会員規約」がそれぞれ適用されるものとします。</p>	<p>(5) 盗難・紛失により被る損害については、ICキャッシュカード機能に関する損害については「ICカード規定」が、クレジットカード機能に関する損害については「JAカード（一体型）会員規約」がそれぞれ適用されるものとします。</p>
<p><u>6</u> 届出事項の変更</p>	<p><u>6. (届出事項の変更)</u></p>
<p>(1) 利用者が届け出た氏名、勤務先、住所等に変更があった場合、もしくはJAカード（一体型）の決済口座の変更を希望する場合には、利用者はただちに当組合あて所定の届出用紙により手続きをしていただきます。利用者が届け出た変更事項は当組合から当社へ送付し、これをもって「JAカード（一体型）会員規約」に定める届出があったものとします。</p>	<p>(1) 利用者が届け出た氏名、勤務先、住所等に変更があった場合、もしくはJAカード（一体型）の決済口座の変更を希望する場合には、利用者はただちに当組合あて所定の届出用紙により手続きをしていただきます。利用者が届け出た変更事項は当組合から当社へ送付し、これをもって「JAカード（一体型）会員規約」に定める届出があったものとします。</p>
<p>(2) JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能にかかる暗証番号を変更する場合には、利用者は当組合に所定の手続きを行うものとします。また、クレジットカード機能にかかる暗証番号を変更する場合には、利用者は当社に所定の書面により届出を行うものとします。</p>	<p>(2) JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能にかかる暗証番号を変更する場合には、利用者は当組合に所定の手続きを行うものとします。また、クレジットカード機能にかかる暗証番号を変更する場合には、利用者は当社に所定の書面により届出を行うものとします。</p>
<p>(3) 第1項のうち氏名に変更があった場合、もしくはJAカード（一体型）の決済口座の変更を希望する場合には、第10条所定の再発行手続きがとられるものとします。</p>	<p>(3) 第1項のうち氏名に変更があった場合、もしくはJAカード（一体型）の決済口座の変更を希望する場合には、第10条所定の再発行手続きがとられるものとします。</p>
<p>(4) 第2項のうち、クレジットカード機能にかかる暗証番号を変更する場合は、第10条所定の再発行手続きがとられるものとします。</p>	<p>(4) 第2項のうち、クレジットカード機能にかかる暗証番号を変更する場合は、第10条所定の再発行手続きがとられるものとします。</p>
<p><u>7</u> JAカード（一体型）の機能分離等</p>	<p><u>7. (JAカード（一体型）の機能分離等)</u></p>

改正後	改正前
<p>(1) 利用者は、JAカード（一体型）について次のことを行う場合には、当組合あて所定の届出用紙により申込または届出を行うものとします。利用者が提出した届出については、当組合から当社に送付し、これをもって本項に定める申込または届出があったものとします。なお、この場合、JAカード（一体型）を分離するか、JAカード（一体型）の機能のいずれか一方または双方が利用できなくなる場合があります。</p>	<p>(1) 利用者は、JAカード（一体型）について次のことを行う場合には、当組合あて所定の届出用紙により申込または届出を行うものとします。利用者が提出した届出については、当組合から当社に送付し、これをもって本項に定める申込または届出があったものとします。なお、この場合、JAカード（一体型）を分離するか、JAカード（一体型）の機能のいずれか一方または双方が利用できなくなる場合があります。</p>
<p>①JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能とクレジットカード機能を分離し、ICキャッシュカードと「NICOSカード会員規約、JAカード会員特約、JAカード「個人情報の取り扱いに関する特約」、ロードアシスタンスサービス規定」により定められたクレジットカード機能のみを有するJAカード（以下、「JAカード」といいます。）それぞれの発行を希望する場合</p>	<p>①JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能とクレジットカード機能を分離し、ICキャッシュカードと「NICOSカード会員規約、JAカード会員特約、JAカード「個人情報の取り扱いに関する特約」、ロードアシスタンスサービス規定」により定められたクレジットカード機能のみを有するJAカード（以下、「JAカード」といいます。）それぞれの発行を希望する場合</p>
<p>②JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能の利用を取りやめ、JAカードのみ発行を希望する場合</p>	<p>②JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能の利用を取りやめ、JAカードのみ発行を希望する場合</p>
<p>③JAカード（一体型）のクレジットカード機能の利用を取りやめ、キャッシュカードのみ発行を希望する場合</p>	<p>③JAカード（一体型）のクレジットカード機能の利用を取りやめ、キャッシュカードのみ発行を希望する場合</p>
<p>④JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能とクレジットカード機能の両方の利用を取りやめる場合</p>	<p>④JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能とクレジットカード機能の両方の利用を取りやめる場合</p>
<p>⑤決済口座を、当組合以外のJAカード（一体型）を扱う組合または連合会の口座に変更する場合</p>	<p>⑤決済口座を、当組合以外のJAカード（一体型）を扱う組合または連合会の口座に変更する場合</p>
<p>⑥決済口座を、JAカード（一体型）を扱わない他の金融機関の口座に変更する場合</p>	<p>⑥決済口座を、JAカード（一体型）を扱わない他の金融機関の口座に変更する場合</p>
<p>⑦決済口座を解約する場合</p>	<p>⑦決済口座を解約する場合</p>
<p>(2) 第1項のうち、②、④、⑦の場合は、当該JAカード（一体型）は当組合に提出するものとし、②の場合に、新たにJAカードが交付されるまでの間、利用者はクレジットカード機能を利用できなくなりますが、これに伴う不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>	<p>(2) 第1項のうち、②、④、⑦の場合は、当該JAカード（一体型）は当組合に提出するものとし、②の場合に、新たにJAカードが交付されるまでの間、利用者はクレジットカード機能を利用できなくなりますが、これに伴う不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>
<p>(3) 第1項のうち、①、③、⑤、⑥については、ICキャッシュカードを発行</p>	<p>(3) 第1項のうち、①、③、⑤、⑥については、ICキャッシュカードを発行</p>

改正後	改正前
し貸与するものとします。	し貸与するものとします。
(4) 第1項のうち、①、②、⑥、⑦については、利用者が当社所定の方法により、 JA カードの発行の申込をし、当社が審査のうえ承認した場合には、 JA カードを発行し貸与するものとします。	(4) 第1項のうち、①、②、⑥、⑦については、利用者が当社所定の方法により、 JA カードの発行の申込をし、当社が審査のうえ承認した場合には、 JA カードを発行し貸与するものとします。
8 JA カード（一体型）の種別変更等	8. (JA カード（一体型）の種別変更等)
(1) 利用者は、 JA カード（一体型）のクレジットカード機能のうち、種別の変更を希望する場合には、当組合あて所定の届出用紙により申込を行うものとします。利用者が提出した届出の全部または一部については、当組合から当社に送付し、これをもって種別の変更の申込が当社にあったものとします。	(1) 利用者は、 JA カード（一体型）のクレジットカード機能のうち、種別の変更を希望する場合には、当組合あて所定の届出用紙により申込を行うものとします。利用者が提出した届出の全部または一部については、当組合から当社に送付し、これをもって種別の変更の申込が当社にあったものとします。
(2) 第1項により新たに JA カード（一体型）が交付されることで、使用できなくなった旧カードは利用者が責任をもって破棄するものとします。なお、旧カードを破棄しなかったことにより生じた不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。	(2) 第1項により新たに JA カード（一体型）が交付されることで、使用できなくなった旧カードは利用者が責任をもって破棄するものとします。なお、旧カードを破棄しなかったことにより生じた不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。
9 クレジットカード機能の利用停止等と返却	9. (クレジットカード機能の利用停止等と返却)
(1) 利用者が「本規定」もしくは「 JA カード（一体型）会員規約」に違反した場合、その他当社が利用者として不適当と認めた場合は、当社は、何らの通知、催告せずしてクレジットカード機能の利用停止または会員資格を取り消すことができるものとします。	(1) 利用者が「本規定」もしくは「 JA カード（一体型）会員規約」に違反した場合、その他当社が利用者として不適当と認めた場合は、当社は、何らの通知、催告せずしてクレジットカード機能の利用停止または会員資格を取り消すことができるものとします。
(2) 当社が第1項により会員資格の取り消しを行った場合には、利用者は JA カード（一体型）をただちに当社の指示する方法に従い当社に返却するものとし、 JA カード（一体型）を当社に返却後に、当組合は IC キャッシュカード等当組合所定のカードを発行し貸与するものとします。	(2) 当社が第1項により会員資格の取り消しを行った場合には、利用者は JA カード（一体型）をただちに当社の指示する方法に従い当社に返却するものとし、 JA カード（一体型）を当社に返却後に、当組合は IC キャッシュカード等当組合所定のカードを発行し貸与するものとします。
(3) 第2項の場合、新たに IC キャッシュカードが交付されるまでの間、利用者は IC キャッシュカード機能を利用できなくなりますが、これに伴う不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。	(3) 第2項の場合、新たに IC キャッシュカードが交付されるまでの間、利用者は IC キャッシュカード機能を利用できなくなりますが、これに伴う不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。

改正後	改正前
<p>(4) 会員資格の取り消しを行った場合には、当組合および当社はそれぞれの判断で利用者に事情の通知・催告等を行うことなく当組合および当社の現金自動支払機や当社の加盟店等を通じて、JAカード（一体型）を回収することができるものとします。利用者は当組合、または当社のどちらか一方からカード回収の要求があったときには、異議なくこれに応じるものとします。</p>	<p>(4) 会員資格の取り消しを行った場合には、当組合および当社はそれぞれの判断で利用者に事情の通知・催告等を行うことなく当組合および当社の現金自動支払機や当社の加盟店等を通じて、JAカード（一体型）を回収することができるものとします。利用者は当組合、または当社のどちらか一方からカード回収の要求があったときには、異議なくこれに応じるものとします。</p>
<p>10 <u>カードの再発行等</u></p>	<p>10. <u>(カードの再発行等)</u></p>
<p>(1) JAカード（一体型）の再発行もしくは第5条、第6条第3項および第4項による再発行を申し込むときは、当組合あて所定の届出用紙を提出するものとします。利用者が提出した届出については、当組合から当社に送付し、これをもって本項および「JAカード（一体型）会員規約」に定める届出があったものとします。</p>	<p>(1) JAカード（一体型）の再発行もしくは第5条、第6条第3項および第4項による再発行を申し込むときは、当組合あて所定の届出用紙を提出するものとします。利用者が提出した届出については、当組合から当社に送付し、これをもって本項および「JAカード（一体型）会員規約」に定める届出があったものとします。</p>
<p>(2) 当組合および当社が、第1項に定めるカードの再発行に応じるときは、当組合および当社が所定の手続きをした後に再発行します。</p>	<p>(2) 当組合および当社が、第1項に定めるカードの再発行に応じるときは、当組合および当社が所定の手続きをした後に再発行します。</p>
<p>(3) 第1項によりカードが再発行される場合には、利用者は当組合および当社所定の再発行手数料請求があった場合は、当該請求金額を支払うものとします。</p>	<p>(3) 第1項によりカードが再発行される場合には、利用者は当組合および当社所定の再発行手数料請求があった場合は、当該請求金額を支払うものとします。</p>
<p>11 <u>店舗統廃合</u></p>	<p>11. <u>(店舗統廃合)</u></p>
<p>(1) 当組合が店舗統廃合を行った場合には、新たにJAカード（一体型）もしくはICキャッシュカード（以下、「店舗統廃合に伴う新カード」といいます。）を発行し貸与することがあります。</p>	<p>(1) 当組合が店舗統廃合を行った場合には、新たにJAカード（一体型）もしくはICキャッシュカード（以下、「店舗統廃合に伴う新カード」といいます。）を発行し貸与することがあります。</p>
<p>(2) 第1項で利用者が店舗統廃合に伴う新カードの交付を受けた場合は、これらのカードを初めて自動機に挿入して貯金の預入れ・払戻し・振込・現金の借受または残高照会等を行った時点、あるいはデビットカードとしての機能を使用した時点で、それまでご利用中の旧カードの使用ができなくなります。また、店舗統廃合に伴う新カードを使用しない場合でも、旧カードは当該カードに印字されている有効期限後に、当該カード</p>	<p>(2) 第1項で利用者が店舗統廃合に伴う新カードの交付を受けた場合は、これらのカードを初めて自動機に挿入して貯金の預入れ・払戻し・振込・現金の借受または残高照会等を行った時点、あるいはデビットカードとしての機能を使用した時点で、それまでご利用中の旧カードの使用ができなくなります。また、店舗統廃合に伴う新カードを使用しない場合でも、旧カードは当該カードに印字されている有効期限後に、当該カードの使用ができなくなり</p>

改正後	改正前
<p>の使用ができなくなります。</p>	<p>ます。</p>
<p>(3) 第2項により使用できなくなった旧カードは利用者が責任をもって破棄するものとします。なお、旧カードを破棄しなかったことにより生じた不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>	<p>(3) 第2項により使用できなくなった旧カードは利用者が責任をもって破棄するものとします。なお、旧カードを破棄しなかったことにより生じた不利益・損害等については、当組合および当社は責任を負わないものとします。</p>
<p>12_ 情報の管理および同意</p>	<p>12. (情報の管理および同意)</p>
<p>(1) 利用者は、JAカード（一体型）の発行に関する業務上必要な範囲で、当組合および当社が業務を委託する第三者に対し、JAカード（一体型）に表示または記録される当該利用者に関する情報の預託がなされることについて、あらかじめ同意するものとします。</p>	<p>(1) 利用者は、JAカード（一体型）の発行に関する業務上必要な範囲で、当組合および当社が業務を委託する第三者に対し、JAカード（一体型）に表示または記録される当該利用者に関する情報の預託がなされることについて、あらかじめ同意するものとします。</p>
<p>(2) 利用者は、JAカード（一体型）の発行、管理等業務遂行上必要な範囲で、当組合および当社で当該利用者の属性情報（当該利用者が当組合および当社に対しJAカード（一体型）申込時に申込書等により届け出た情報および第6条に基づいて届け出た情報をさすものとします。）、JAカード（一体型）の機能の全部または一部の利用の可否の判断に関わる当該利用者の情報（第4条、第5条、第7条、第8条、第9条、第10条第2項記載の事項、関連規定、「ICカード規定」、「デビットカード取引規定」または「JAカード（一体型）会員規約」に違反した事実等）の共有がなされることについて、あらかじめ同意するものとします。</p>	<p>(2) 利用者は、JAカード（一体型）の発行、管理等業務遂行上必要な範囲で、当組合および当社で当該利用者の属性情報（当該利用者が当組合および当社に対しJAカード（一体型）申込時に申込書等により届け出た情報および第6条に基づいて届け出た情報をさすものとします。）、JAカード（一体型）の機能の全部または一部の利用の可否の判断に関わる当該利用者の情報（第4条、第5条、第7条、第8条、第9条、第10条第2項記載の事項、関連規定、「ICカード規定」、「デビットカード取引規定」または「JAカード（一体型）会員規約」に違反した事実等）の共有がなされることについて、あらかじめ同意するものとします。</p>
<p>(3) 当組合、当社および業務を委託する第三者は、利用者情報に関するプライバシー保護について十分注意を払うものとします。</p>	<p>(3) 当組合、当社および業務を委託する第三者は、利用者情報に関するプライバシー保護について十分注意を払うものとします。</p>
<p>13_ 規約および規定の準用</p>	<p>13. (規約および規定の準用)</p>
<p>「本規定」に特段の定めがない場合は、JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能については関連規定、「ICカード規定」、「デビットカード取引規定」を、クレジットカード機能については「JAカード（一体型）会員規約」を準用するものとします。</p>	<p>「本規定」に特段の定めがない場合は、JAカード（一体型）のICキャッシュカード機能については関連規定、「ICカード規定」、「デビットカード取引規定」を、クレジットカード機能については「JAカード（一体型）会員規約」を準用するものとします。</p>
<p>また、「本規定」と関連規定、「ICカード規定」、「デビットカード取</p>	<p>また、「本規定」と関連規定、「ICカード規定」、「デビットカード取引規</p>

改正後	改正前
引規定」または「 <u>JA</u> カード（一体型）会員規約」の内容が両立しない場合は、「本規定」が優先的に適用されるものとします。	定」または「 <u>JA</u> カード（一体型）会員規約」の内容が両立しない場合は、「本規定」が優先的に適用されるものとします。
14_本規定の変更	14. <u>(「本規定」の変更)</u>
(1) 本規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、本規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するものとします。	(1) 本規定は民法に定める定型約款に該当します。当組合は、本規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法の定型約款の変更の規定に基づいて変更するものとします。
(2) 前項による本規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。	(2) 前項による本規定の変更は、変更後の規定の内容を、店頭表示、インターネットその他相当の方法で公表し、公表の際に定める適用開始日から適用されるものとします。
以 上	以 上
(2025年6月1日現在)	(令和2年4月1日現在)